

特別養護老人ホーム楽々楽館

ら・ら・ら便り

第34号 令和7年3月吉日発行

今年は、巳年であり、「巳年」の「巳」は実を結ぶ「実」にも掛けられて、「蒔いた種が実を結ぶ」の例えから、「万物が実を結ぶ年」とも云われています。また、巳年の「巳」は十二支で唯一「脱皮」する干支であり、古い殻から抜け出して新しく生まれ変わる年であります。

楽々楽館では、昨年12月に全館内にWi-Fiを整備し、「見守りセンサー」を全室に設置。利用者様の状況の見える化を図り、居室への訪問回数を減らし、利用者様の精神的負担軽減。また、利用者様に対する迅速なケア、職員の迅速なフォロー、職員間の情報共有のため「インカム」の導入し、職員の心身の負担軽減を図っております。

今後も、利用者様へより良いサービスの提供ができるよう、引き続き努力して参りますので、引き続き皆様のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

「あいさつは短く、幸せは長く」ということで、「皆様の幸せが長く続きますよう」ご祈念いたしまして、新年のあいさつとします。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

職員紹介

早坂彩葉

令和6年8月から特養楽々楽館の南棟さくらユニット職員として就職しました。職場の先輩方に丁寧に仕事を教わりながら毎日楽しくお仕事をしています。

高見曜

令和6年9月から特養楽々楽館の南棟すずらんユニット職員として就職しました。職員の皆さまにいろいろなことを教えてもらいながら利用者様が快適に過ごせるよう努めてまいりたいと思います。

千葉夏子

R7年1月1日付で楽々楽館北棟・かえでに異動してまいりました、千葉夏子と申します。まだ慣れない部分がありますが一日でも早く慣れ、利用者様一人ひとりが安心・安全に楽しみを持ち生活出来るよう頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

ショートステイを利用されていたご利用者様の関係者様から、心温まるお手紙を頂きました。今後も、より良い支援を行うべく、日々努力をしていきたいと思ひます。

楽々楽館 職員の皆様

拝啓 向暮の候、

お変わりなくお過ごしでしょうか。

入居中は、皆様の丁寧な

サポートのもと、楽々楽館を過ごす期間は

本当にお世話になり、ありがとうございました。

南棟身代、温かい接し方に、心から

感謝の気持ちでいっぱいです。

退院後、入所し、

食欲も出てきたようで、体調も落ち着いて

過ごしています。お礼の書状も診療に

なり、先生も丁寧に診察して下さい。

以前より薬もだいぶ減りました。

「良かった、帰りたいくらい休みたい」と笑

いふも、うれしく思っています。

お礼の挨拶が遅くなってしまい申し

あげます。また、何かの機会でお会い

できた際には、どうぞよろしくお願い致します。

皆様のご健康とご活躍を、心より

お祈り申し上げます。

本格的な夏をひかえて、くれぐれも

ご自愛くださいませ。

敬具

9月18日(水) に各ユニットで敬老祝い会を開催しました。祝品贈呈と、お昼には祝膳を提供し喜んでいただけた様子でした。



忘年会



12月18日（水）に忘年会を開催、南棟はマジックショー、くす玉割り、北棟はお菓子バイキング、紐引きくじ、各棟記念品贈呈があり、ご利用者様の歓声や笑顔が沢山見られました！

謹賀新年

令和7年1月15日（水）各棟に分かれて新年会を開催しました。鏡開きや書初め、獅子舞の登場に身を乗り出して見ている方もいました！

